



週間情報



No.0616

発行日 令和6年4月23日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-3234-1321

消防本部の動き

行事

◆ 株式会社クリーンカンパニーに感謝状を贈呈

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部（秋田）

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部では、令和6年3月27日（水）、株式会社クリーンカンパニーに対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

これは、同社が行う地域貢献活動の一環として、当消防本部に応急手当講習テキストを1,000冊寄贈いただいたことによるものです。

同社の小野社長から、「1人でも多くの人命を救えるように活用してください。」とのお言葉をいただきました。

今後、バイスタンダーの養成に活用し、救命率の向上を目指してまいります。



【感謝状贈呈の様子】



【感謝状贈呈後の記念撮影】

訓練

◆ 「緊急車両運転技術向上訓練会」を実施

うるま市消防本部（沖縄）

うるま市消防本部では、令和6年3月31日（日）、管内の自動車学校において、当消防本部の職員や消防団員を対象とした「緊急車両運転技術向上訓練会」を実施しました。

この訓練会は、緊急車両の安全運転に必要な知識などを再確認し、運転技術の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、はりま交通研修センターが主催する「緊急車両運転者特別研修」を受講した職員を講師として、消防車両の運転、誘導要領などを実施しました。

今後も訓練を継続し、安全運転能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

その他

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

勝山市消防本部（福井）

勝山市消防本部では、令和6年4月10日（水）、消防協力者の3人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和6年3月24日（日）、交通事故に伴う車両火災において、消防協力者の3人が協力し、早期に119番通報を行うとともに、事故車両から自力脱出が困難な高齢女性を車外に救出したものです。

消防協力者の勇気ある行動と決断により、尊い命が救われました。



【感謝状贈呈の様子】



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 電動ストレッチャーを搭載した高規格救急車の運用を開始

阿賀町消防本部（新潟）

阿賀町消防本部では、令和6年4月1日（月）、県内で初となる電動ストレッチャーを搭載した高規格救急自動車の運用を開始しました。

この車両は、当消防本部の救急需要が年々増加していることと、昨年度は当消防本部における女性職員の割合が全国で最高値となったことから、搬送時における傷病者の身体的負担を軽減するとともに、救急隊員の負担軽減と女性救急隊員の活躍促進を図ることを目的として導入したものです。

今後も、導入された車両を有効に活用し、住民の皆さまに寄り添った救急活動を実施してまいります。



【運用開始した車両と電動ストレッチャー】

◆ 特別消火隊の発足式を実施

湖南広域消防局（滋賀）

湖南広域消防局では、令和6年4月1日（月）、特別消火隊の発足式を実施しました。

近年の住宅様式や建物構造の変化に伴い、消火活動の困難性が高まり、隊員の受傷リスクが増加の傾向にあることから、約2年間の準備期間を経て、管内のすべての建物火災に出動する同消火隊を発足したものです。

また、発足式に引き続き、火災想定訓練を実施し、隊員間の連携を強化しました。

特別消火隊の専門的な知識・技術を生かして、隊員の受傷リスクと被害の軽減につなげてまいります。



【訓練の様子】



【特別消火隊】

◆ 「セイフティマネージャー」を配置

松山市消防局（愛媛）

松山市消防局では、令和6年4月1日（月）、安全管理業務に従事する「セイフティマネージャー」を配置しました。

これは、経験豊富な高齢期職員で構成する「セイフティマネージャー」を配置することで、災害現場や訓練時の安全管理体制の強化を目的としたものです。

今後、災害時や訓練時の支援をはじめ、消防ヒヤリハットデータベースを活用した教養研修等を実施し、安全管理の徹底に努めてまいります。



【消防局長からの激励の様子】



【セイフティマネージャー】

◆ 新消防指令管制システムの再整備と現場映像共有機能などを強化

浜松市消防局（静岡）

浜松市消防局では、令和6年4月8日（月）、新消防指令管制システムの全運用を開始しました。

このシステムは、令和5年度中に再整備を行い、出動指令の遅延を防ぐ指令送出遅延アラーム機能と、指令センターが被災した際のバックアップ機能となる可搬型指令システムを新たに導入し、運用を開始したものです。

また、消防本部と消防団の車両位置情報を共有するクラウド型AVM、ウェアラブルカメラを用いた現場映像システム、電子指揮盤、隊員の位置情報を表示するヒューマンロケーション、パソコン作業の一部をロボットが対応する業務自動化ツール（RPA）、消防データの分析ツール（消防BI）、LPG非常用発電機などを追加し、多様な消防業務に係る機能を強化しました。

今後は、運用面でのブラッシュアップを行い、本質的な変革や新たな価値創出が伴う真のDXを実現してまいります。



【クラウド型AVMの画面】

◆ 日勤救急隊発足式を実施

川口市消防局（埼玉）

川口市消防局では、令和6年4月11日（木）、川口市日勤救急隊発足式を実施しました。

これは、増加を続ける救急需要への対応力の向上、年間を通して救急需要の多い日中時間帯における救急出動体制の強化、そして24時間勤務が困難な職員の働き方の選択肢を広げることを目的として発足したものです。

当日は、消防長から同救急隊に訓示を行った後、隊長が決意を表明しました。

今後も、さらなる「選ばれるまち」の実現のために救急体制を構築するとともに、救急車の適正利用における広報活動も継続してまいります。



【発足式後の記念撮影】

国等の動き

消防庁通知等

◆ 消防用設備等の設置に係る金融上の措置について（情報提供）

（事務連絡、令和6年4月12日）

消防庁予防課から各都道府県消防防災主管課、東京消防庁・各指定都市消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

標記の件について、「中小企業者等に対する消防用設備等に係る融資制度」に係る令和6年4月1日時点における利率等を別添のとおりお知らせいたしますので、事業者への指導等に当たっての参考として下さい。（別添省略）

—以下省略—

○ 全文は消防庁ホームページ

<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/bae188d3f0309662858145b444e888d67469e069.pdf>）に掲載されています。

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0516）1ページ、機関誌「ほのお」2023年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 児嶋

原稿データは、kikakeikaku@fcj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 岡崎

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321「週間情報」担当：企画課 須藤

原稿データは、weekly@fcj.gr.jpに送信願います。